



ひがしやまあいじえん えんだより

STEP!

Living together. Growing up together. Caring for children.



あいじえんコラム 2021.5

入園式から早くも一か月が経とうとしています。新しい帽子を被り、新しい名札を付けて登園してくる子どもたちの姿も見慣れる頃、新しい保育室や担任といった環境にも慣れ、園庭を駆け回り、室内でも色々な玩具に集中して遊ぶ姿が見られるようになります。しかし、この一か月弱で慣れた頃に、5月の大型連休がやってきます。連休明けの姿はどんな様子かな？と連休に入るこの時期、いつも思うことです。

さて、入園式の折にお話させていただきましたが、今年は昨年の反省を踏まえ、もみじぐみから3歳児のももぐみを一旦離して活動しています。まつぐみとたけぐみも1～3月で行ったグループ活動も一旦休止して、4月は各々の主体的なあそびを中心とした活動を行ってきました。この1ヶ月を通して新年度の環境に慣れてきたようですので、GW明けからまつぐみたけぐみは2クラスでグループ活動をいち早く始めます。

このグループ活動について何なのかおさらいをすると、主体性を大切にした子どもたちの活動そのものです。まず、縦割り保育の特性を生かし、子どもたちを複数のグループに分けます。そして、午前中の朝の会終了後から給食が終わるまでの3時間弱を年長を中心に子どもたちだけで考え、活動するのです。最初にやるべきことは、グループ毎にリーダーの選出とグループ名を決めます。それからリーダーを中心としたグループ毎で今日何をしたいのか、何をするのか子どもたちだけで考え行動していきます。これらの活動を通して、子どもたちは大人から多くのことを教えられるわけではなく、コミュニケーション力、協調性、問題解決力、忍耐力、遊ぶ力といったことを生活する中で自分たちで自然に学びとることを目的としています。そしていずれ、ももぐみの子どもたちも、もみじぐみとしてグループ活動に参加する時期を楽しみに一人ひとりの成長を見守っていきたいと思います。昨年作成した園のリーフレットやあたご苑に掲示させてもらっているポスターにも書いていますが、幼児教育はその環境をいかに整えてあげるかが、こども園としての重要な役割であると考えています。

こども園つまり幼児教育は、環境を通じて行なうことが基本となるといつてもいいかもしれません。集団生活を行っていくには決められた様々なルールがあります。たくさんの友達と保育士に囲まれた中で、周りの人を尊重すること、協力して取り組むこと、遊びのみならず色々な物事に興味を持つこと、自分でできることは自分でやること、これらは人から指示されたり命令されたりしてからやることではありません。こども園での活動を通して、本人の成長とともに少しずつ獲得していくことだと思います。だからこそ、子どもがもつ力を信じ、どれだけ大人が待つことができるかにかかっているのだろうと思います。大人は子どもとの時間感覚が違うため、慌ただしく忙しく一日、一週間、一か月、一年が過ぎていきます。だから忙しくしているが故に、子どもの成長をじっくりと待てないこともあるのだと思います。5月の新緑が美しい情景の下、焦らず・ゆっくり・丁寧に子どもたちと関わり、ともに育ちあう仲でありたいものです。大人にとっては一瞬の1年間であっても、子どもにとっては長くて濃厚な1年間になるはずです。じっくり見守りながら過ごしていきます。

Information

歯科検診

26日（水）の11:00から歯科検診があります。
みんな受診できるようにご協力をお願いします。

尿検査

17日に尿検査の容器を配布します。
18日と19日が回収日となっていますので、朝の
尿を採って持たせて下さい。

園外保育

12日に清水山大観峰を目指し、園外保育に出かけます。まつ・たけのみ、おしぶりの用意をお願いします。お弁当は園で用意します。
もも・さくら・うめは近隣散策をします。

花まつり

10日は花まつりを行います。
花まつりはお釈迦さまの誕生をお祝いする仏事です。みんなで花御堂をお飾りして、お釈迦さまに甘茶を注ぎ、お参りをして、歌を歌ったり、お話を聞きます。
花御堂をお飾りしますので、お花があるところは持たせただくと助かります。

ファミリーデー

月末に家族へ日ごろの感謝を込めて、子どもたちからプレゼントを贈りますので、お楽しみに！

みやま市デジタル掲示板

LINEのタイムライン及びInstagramにも投稿しましたが、4月1日よりみやま市の市役所本庁2F玄関入り口にデジタル掲示板が設置されあいじえんも掲載されています。街の駅などによくある背丈ほどの高さのものです。
認定こども園として何を大切に活動しているのかを15秒という短い時間の中に込めました。本庁にお寄りの際はご覧ください。

event

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
		花まつり		園外保育		
16	17	尿検査	避難訓練	体操教室	身体測定	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

5月末～6月上旬でじゃがいもほりを予定しています

From the kitchen

幼児に必要なエネルギー量は？

3歳児から5歳が1日に必要な推定エネルギー量は男児1300カロリー、女児1250カロリーです。

体重1kg当たりで比較すると、エネルギーが大人の約2倍、筋肉を作るたんぱく質は約1.7倍、骨を作るカルシウムは約3倍、鉄も約3倍必要です。より活発になり、運動量も増えるこの時期、主食・主菜・副菜が揃った食事を心がけることで、成長期に必要な栄養素が確保できます。



- ①生年月日
- ②好きな絵本
- ③好きな色

給食メニュー レシピ

カレーコロッケ（10個分）

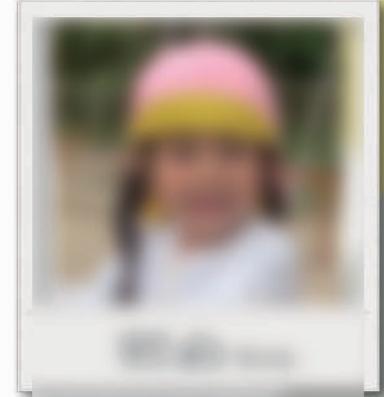
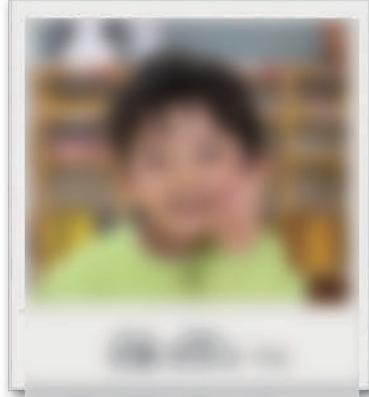
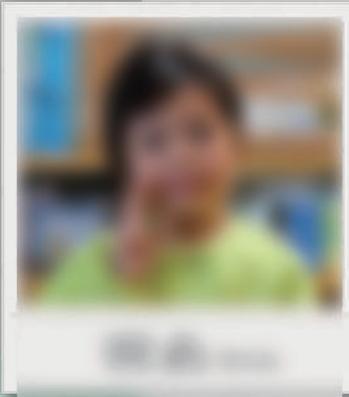
材料

- ・合挽きミンチ（150g）
- ・醤油（30g）
- ・じゃが芋（650g）
- ・カレールー（30g）
- ・玉ねぎ（200g）
- ・天ぷら粉（100g）
- ・人参（100g）
- ・パン粉（100g）
- ・揚げ油

作り方

ミンチ、玉ねぎ、人参を炒めて醤油、カレールーを入れる。漬したじゃが芋と合わせて形成。こんがりとキツネ色になるまで揚げれば完成。

Happy Birthday



もみじのひと月

入園式

当日の朝は緊張した表情で登園した子も多かったですが、新しい色の名札をつけてもらうとパッと笑顔に変わり、だんだんと緊張もほぐれて、進級できたことを喜んでいる様子でした。式典の間も話をしっかり聞いたり、仏讃歌を大きな声で歌ったりと、それぞれが一つ上の兄さん・お姉さんになった姿が見られました。名前の点呼も元気よく返事をしてくれました。



歓迎遠足

毎日カレンダーを見て、心待ちにしていた子どもたち。当日はニコニコしながらお弁当とおやつを持って登園してきました。

室内では全クラスで協力し合い、2チームに分かれてゲームを行いました。戸外ではたくさん遊んだり、宝探しを楽しみました。天気もとても良かったので、お昼は外でレジャーシートを敷いて嬉しそうにお弁当を食べていました。途中、飛行機雲が飛んでいるのが見えて、更に盛り上がっていました。楽しみにしていたおやつの時間では、それぞれ食べたいお菓子を選んで友達同士でお菓子を見せ合いながら、食べる様子は更に会話に花が咲き、終始笑顔の絶えない一日となりました。



おにぎり作り

「どんなおにぎり作ろうかなー？」とウキウキしながら給食の時間になるのを待っていました。手を洗った後は汚れないようにと顔の横に手を挙げて、準備ができるまで待っている子もいて、その姿はなんともかわいかったです。ラップでご飯をくるんだ後は力強く握ったり、そーっと握ったりして、色々な形のおにぎりができました。「いただきます」の挨拶をすると一番におにぎりを食べる子もいれば、最後まで大事そうに残している子もいて、自分で作ったおにぎりをおいしそうに食べていました。「おうちでも作りたい！！」という子も多かったのでぜひご家庭でやってみてください。



まつ・たけ

まつ・たけぐみの子どもたちは進級して「まつぐみになったから！」「たけぐみになったから！」と言しながら、基本的生活習慣になることは自ら進んで行っている姿がよく見られます。一人ひとりが進級したという意識をしっかりと持っているからなのでしょうね。

戸外活動では、グラウンドにたくさん咲いているシロツメクサや他の花を摘んだり、カエルやバッタといった虫を夢中で追いかけ、捕まえたりして、思う存分楽しんでいます。自然豊かなあいじえんでは、身近に季節を感じられるため、図鑑を首から下げて「春を探しに行くぞ！」と張り切って外へ駆け出す子どもたちもいます。

また、朝や帰りの時間に「言葉遊び」を行っています。しりとりをしたり、自分の名前を絵本の中から探したりして、遊びを通して文字に触れることで、自然と学んでいます。文字を見つけたときには、「あったあった！！」と嬉しそうに目を輝かせている様子も見られます。



もも

4月は新しい環境の中、戸外遊びや室内での自由遊びを中心にゆっくりと過ごしました。戸外ではカエルやてんとう虫などの生き物を一生懸命探す姿があり、捕まえると、とても嬉しそうです。逃がす時には寂しそうに「ばいばーい」と言っています。子ども達にとって虫などの生き物は、きっと輝いて見えているのだなと改めて感じました。小さな生き物と関わることはたくさんの学びがあります。

自由遊びでは以上児クラスになり、たくさんの玩具があるので、自分の好きな玩具を見つけて思う存分に遊ぶ姿が見られました。新たな環境に大して不安になる子もおらず、新入園児の友達とも仲良く、みんな笑顔で過ごすことができています。

鯉のぼり製作では、「何を作るのかな～」と前日から楽しみにしている子が多くいました。デカルコマニーやスタンプで自分の好きなように模様をつけ、ハサミも使ってみました。一人一人が興味を持ち、楽しそうに取り組んでいました。出来上がると友達同士で鯉のぼりを揺らしながら、楽しそうに遊んでいました。ももぐみの子ども達は製作活動に大して意欲的に取り組む姿が見られるので、これから色々な製作をしていけたらと思います。



さくら・うめのひと月



新年度が始まり、早くも一か月が経ちました。上旬の頃は、新しい環境になり、落ち着かなかったり、少し緊張した様子の子どもたちでした。しかし、日が経つにつれ次第に慣れてきて、子どもたちの笑顔もたくさん見られるようになりました。「お手て洗うよー」と声をかけると手洗い場へ行ったり、「おやつたべよー」と声をかけると机のところで上手に座って待っていたりと、とてもかわいい子どもたちです。

今月は戸外活動をたくさん行いました。築山スライダーや三輪車、砂遊びなど各々が興味のある物のところへ行き存分に遊んでいます。さくら・うめぐみのみんなは築山を滑るのが好きです。泥だらけになりながらも、笑顔でみんなで滑っています。虫にも興味津々で見つけるとみんなで虫を囲んでじーっと観察したり、人差し指で触ってみたりしています。

5月も天気が良い日には戸外へ出て遊んだり散歩へ行ったりして、春を感じていきたいと思います。



スマホと YouTube

現代の生活には欠かせないスマートフォン。

「スマート」と言われているだけあってただの電話ではなく、掌に収まる電話機能付きパソコンです。ありとあらゆる場面で使われ、とにかく便利ですが、その活用法に警鐘が鳴らされています。

スマホの普及とともに度々問題に上がっているのが、スマホを使った育児です。子どもにスマホを渡し、YouTubeを見せてご飯を食べさせたり、見せている合間に自分の時間を捻出する…「スマホに子守りをさせること」がスマホが普及してから大きく問題視されています。

子どもを取り巻く環境の中でこれだけ問題になっていることです。

「スマホは持たせてはいけない」「YouTubeをずっと見せるのはいけない」とは分かっているけど…という方もいるはず。

スマホを使った育児がなぜ問題視されているのでしょうか。

スマホが幼児期の子どもに与える影響はたくさんあります。

スマホの普及とともに、テレビや雑誌などのメディアで「スマホ子守り」という言葉が出てくるようになりました。昨年12月のえんだよりでも紹介しましたが、2013年に日本小児科医会が「スマホに子守りをさせないで！」と呼びかけるポスターを作り、計5万枚を全国の保育園や医院などに配布しています。

スマホ子守りとは、親が絵本の読み聞かせや散歩、会話などの関わりの時間をスマホでのYouTube視聴やゲームアプリに任せることです。

子どもにスマホを与えることで大人は自分の時間を作ることができ、仕事や家事などほかのことに時間を使えるようになります。

ある調査では、未就学児の約6割が2歳になるまでにスマホやタブレットなどの機器に触れていて、さらにそのうちの半数は毎日のように機器を使用していることが明らかとなっています。

そこで、具体的にどういった影響が出るのか改めて考えてみましょう。

コミュニケーションの機会が減る

スマホ子守りが常態化すると、親と子のコミュニケーション時間が減ってしまいます。これにより、大人と目を合わせなくなったり、会話をしなくなったりする子どもがいます。

親と遊ぶことよりもスマホで見れるコンテンツの方に興味があるため、そちらを優先するようになる可能性があるのです。

近視になりやすい

昔からテレビは離れてみましょうという呼びかけはされていますが、スマホはテレビよりももっと顔から近い位置で使用します。今のスマホはとにかく高機能です。アニメ・ドラマ・映画といったテレビで映していた映像が掌の中で同じように見ることができます。小さいからといって目に与える影響は小さくなるわけがありません。むしろテレビより数十センチの近い距離に囮るので、近視の進み具合は何倍にも増えます。スマホを日々長時間使用することで、幼いうちから近視になりやすいといわれています。

言語発達が遅れやすい

スマホばかりを見て会話をする機会が減ると、言語の発達も遅くなるとされています。これが身体発達の著しい幼児期にとって最も影響が出るところだと思います。言葉の習得は大人からの生の声を聞くことから始まります。名前の呼びかけ、指さし行動から始まる大人とのコミュニケーションを通じた語彙の習得。しかし、スマホばかりを見て親からの呼びかけの機会が少なくなると、言語をうまく学ぶことができず、発達に遅れが生じるおそれにつながります。毎日YouTubeを見せる育児と、絵本の読み聞かせを重ねた育児では、はっきりと違いが出ます。語彙力・発音・コミュニケーション力、様々な面で違いが出てきます。

幼児期の子どもにスマホ子守りをすることで、思春期や成人後の人間性にも影響が及んできます。

例えば、大人でもスマホがないと不安やイライラしてしまうスマホ依存症。また、スマホばかり見ることで視力が低下するだけでなく、体を動かす機会が減ってしまうため、運動不足になりがちです。長時間の使用は、その場で何かしら役に立っていても長期的に見れば、良いことは少ないはずです。

Book
今月の絵本



バルバルさん

乾栄里子 作 西村敏雄 絵 福音館書店

バルバルさんは、町の床屋さん。毎日楽しく働いていますが、ある日、ライオンが長く伸びたてがみをきれいにしてほしいとやってきます。次にワニが髪の毛はないけれど来店。ヒツジがプードルみたいにかわいくしてほしいと、次々に動物のお客さんがやってきました。初めは動物たちが来る事態に驚いていたバルバルさんも、だんだん楽しくなっていきます。そして夕方、店を閉めようとすると、看板にいたずら書きがあるのを発見します。バルバルさんの床屋さんとして楽しく働く姿と優しい人間性に惹かれる絵本です。

年長児の4月の月間絵本は、このバルバルさんの最新作でした。

今月のきゅうしょくメニュー

		こんだて	10時のおやつ	15時のおやつ
1日 (土)	肉うどん フルーツポンチ		棒チーズ	焼き込みおこわ
2日 (日)				
3日 (月)	憲法記念日			
4日 (火)	みどりの日			
5日 (水)	こどもの日			
6日 (木)	ごはん 魚のフライタルタルソース 和風サラダ		バナナ	ババロア ビスケット
7日 (金)	ごはん じゃが芋のそぼろ煮 胡瓜としらすの酢の物 りんご		りんご	ミルクもち
8日 (土)	ナポリタン ヨーグルト和え		ビスケット	卵サンド
9日 (日)				
10日 (月)	ごはん 南瓜のみぞ汁 焼き魚 中華炒め		せんべい	マドレーヌ
11日 (火)	ごはん 炒り豆腐 ポテトサラダ		棒チーズ	バナナ せんべい
12日 (水)	わかめごはん チキンナゲット ウインナー スパゲッティ ほうれん草ごま和え		バナナ	ハイミックス
13日 (木)	ごはん 魚のマヨ焼き きんぴらごぼう りんご		りんご	人参ケーキ
14日 (金)	ごはん チキンカレー フレンチサラダ		ビスケット	ベジたべる
15日 (土)	わかめラーメン ヨーグルト和え		せんべい	ピザパン
16日 (日)				
17日 (月)	ごはん ハムカツ ごま甘酢和え こふき芋		棒チーズ	バナナ ビスケット
18日 (火)	ごはん 中華スープ 魚の照り焼き 南瓜サラダ		りんご	りんごケーキ
19日 (水)	ごはん 肉じゃがカレー風味 ごま甘酢和え		バナナ	動物ビスケット
20日 (木)	ごはん 豚肉の南蛮漬け ひじきの煮つけ キャベツ		棒チーズ	スイートポテト
21日 (金)	ごはん 魚のオランダ揚げ 千草和え ブロッコリー		せんべい	さつま芋ケーキ
22日 (土)	親子うどん フルーツポンチ		りんご	どら焼き
23日 (日)				
24日 (月)	ごはん 魚の香味揚げ ほうれん草納豆和え キャベツ		バナナ	ゼリー せんべい
25日 (火)	ごはん 煮込みハンバーグ 春雨の酢の物 こふき芋		棒チーズ	チョコケーキ
26日 (水)	ごはん ちくわの磯辺揚げ 大豆の五目煮 キャベツ		ビスケット	バナナ ビスケット
27日 (木)	ごはん 麻婆豆腐 野菜のマヨみそ和え		せんべい	安倍川マカロニ
28日 (金)	ごはん スパニッシュオムレツ 切干大根の煮つけ キャベツ		棒チーズ	南瓜ケーキ
29日 (土)	ミートスペグッティ ヨーグルト和え		りんご	ワインナーパン
30日 (日)				
31日 (月)	ごはん カレーコロッケ ごまサラダ ブロッコリー		バナナ	りんご せんべい



幼保連携型認定こども園 社会福祉法人 千広会 ひがしやまあいじえん
835-0002 福岡県みやま市瀬高町小田 2215-5
TEL 0944-63-7519 FAX 0944-63-5734 web h-ajien.net

